

体育祭 はじける青春！

6月30日、7月1日に体育祭を開催しました。クラスが一丸となって取り組む球技大会、リレー、綱引き等の運動会。仲間がひとつになるうとすることで互いの良さを確認し合う、温かさに溢れた体育祭になりました。

体育祭を終えて

実行委員長 **市川湧斗** (3年・亙理中出身)

1日目は前日の雨が少し残るあいにくの天気でしたが、無事、球技大会が行われました。今年は1、2年生の活躍が目覚ましく、



よいドン！
歓声があがる



クラスの応援に熱が入る

学年を越えた熱戦が多くありました。意地を見せる3年生の姿も感動的でした。2日目の運動会では、暑さの中の熱い応援が青天を呼び、走る人の力に繋がった気がします。部活動リレーでは各部工夫を凝らし、たいへん盛り上がりました。体育祭の大成功の要因は「生徒の皆さんの協力」です。各競技の準備にあたった各部活動、企画運営にあたった実行委員の皆さん、そして力を貸していただいた先生方、ありがとうございました。

サンフランシスコ日本語補習校サンノゼ校との交流会開催

7月5日、サンフランシスコ日本語補習校サンノゼ校に通う17名、引率者9名が来校し、交流会を開催しました。訪問した生徒は、保護者は日本人、生まれ育ちはアメリカ、アメリカのハイスクールに通い、毎週土曜に日本語学校に通う高校生です。将来は日本とアメリカの架け橋となって国際的な仕事に就きたいという大きな志を持ち、今回は名取市への震災義援金の贈呈、被災地訪問のため来日しました。訪問は本校校医 洞口 篤先生(名取中央クリニック理事)の紹介により実現しました。本校生は生徒会、書道部、茶道部、華道部、英語研究部の58名が参加し、日本文化体験(書道、茶道、華道)と折り紙制作を通し、違う文化を持つ高校生同士が触れ合い、楽しく夢のある交流会になりました。



交流会に参加して

華道部部长 **星みなみ**
(3年・坂元中出身)



サンフランシスコ日本語補習校の高校生と交流で、一緒に生花をくれました。とてもセンスのある生徒ばかりで、素敵な作品ができました。缺の使い方が難しかったようですが、すぐ上手に使えるようになり、教えていて嬉しくなりました。同じ年頃の違う国の人たちと関わる機会があったに、貴重な思い出に残るものとなりました。今回の経験を、少しでもアメリカで華道の世界に興味を持っていただけたら嬉しいです。

生徒会会 スタート！

6月22日、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に**大泉花奈さん**(写真中央・2年・白石南中出身)、副会長に**下畑夏乃さん**(写真右・2年・六郷中出身)、**松本裕也さん**(写真左・1年・逢隈中出身)が選出されました。生徒会長さんに今後の抱負を伺いました。

生徒会長になって

大泉花奈

私は、学校のチームの一人ひとりが輝けるように努めていきます。それが個性を發揮し、自分の役割を果たす。それを身に付けることで、社会に出て役立つ人になると思います。また、ボランティア活動を積極的に参加し、社会貢献を学校全体で行っていきたいです。3・11で被災した地域の学校として、防災関係にも生徒会として取り組めたらと思います。観光マップや防災マップを高校生の目線で作る等、地域活動も行い、地域の方々にも名取北高を身近に感じてもらえるようにしていきたいです。北高生がチームとして団結し、「この学校で高校生活を送ることができて良かった」と思える学校にするため頑張っていますので、どうぞよろしくお願いたします。



増田中学校との教職員交流を実施

6月20日、本校 高橋 威教諭と草 陽介教諭が、増田中学校での授業と課外活動に参加しました。この交流は教員の資質向上を目指し、中高連携の観点から、お互い学び合うため始めたものです。すぐ隣にある学校同士、交流を進めながらお互いの教育活動の改善に繋がればと思います。参加した2人の教員は、「たいへん新鮮だった」「生徒と教師の距離感など考えさせられる点が数多くあ

った」と感想を述べています。今後も小、中学校や特別支援学校、他の高校、大学や行政機関等と連携しながら人材育成に努めて参りますので、よろしくお願ひいたします。



授業に見入る草教諭



学校評議員会開催

6月16日、学校評議員会が開催され、今年度の学校運営方針や現状に対し、ご助言をいただきました。委員は、**村野井 仁**様（東北学院大学教授）、**山田光夫**様（地域在住・名取岩沼雇用主会会長）、**多田伸彦**様（セブンイレブンオーナー）、**郷内知明**様（同窓会長）、**松崎義昌**様（PTA会長）の5名です。「生徒の活躍のニュースを聞くにつけ、地元の名取北高があることを誇りに思う」、「協調性や挨拶等は、高校で教えられて来ている者とそうでない者の差が、社会人になってから大きく表れる」、「地域で若者を育てることが大切」「学校情報の地域への発信が少なく、北高の良さが意外と知られていない。生徒の話題からしか学校を知ることができない」、「企業では成績優秀であってもコミュニケーション力がないと役立たない」等のご意見をいただきました。学校評議員の皆さまには日頃より本校に大きな期待を寄せ、応援をいただいています。

存分に力を発揮して
東北学院大学文学部長
村野井 仁 教授

村野井先生は本校の学校評議員でもありません。本校生の感想などお伺いしました。

大学で学ぶ意義は何ですか
大学にはさまざまな学生や教員が集まっています。高校では想像もなかったような価値観を持った人と出会うこともあります。そのような人との出会いを通して自分を見つめ、自分の生き方についてじっくり考えることができます。また、「わかる」、「考える」、「伝える」という社会に出て必要とされる総合的な問題解決能力を身に付けることができます。場でもあります。

本校出身者の大学での様子はどうですか
名取北高校出身の学生は可能性に満ちており「伸びしろ」があります。数少ない「特待生」や「優等生」にも名前を連ねています。大学卒業後は有名企業に就職したり、地方公務員になる割合が高いという就職データもあります。ほとんどの卒業生が地域に貢献できる頼もしい人材になっています。

名取北高校生にメッセージをお願いします
名取北高校は就職、公務員、各種専門学校、大学と卒業後にさまざまな進路選択ができる高校で、どんな進路をも目指せるすばらしい魅力があります。勉強だけでなく運動部も文化部も確かな実力を持っています。皆さんには名取北高の良さを活かして、限りなく広がる自分の可能性をとことん追い求めてほしいと願っています。皆さん、頑張ってください。

応援しています。

マイナビ進学フェスタに参加し、多くの大学等のブースで質問し、卒業後に学ぶこと等の研究を行いました。



進路に関する行事、続々と開催



保護者を含む3年進路説明会が6月25日に開催され、卒業に向け進路希望が達成されるよう、生徒・保護者・教職員が一同に会し、これからの頑張りを確認し合いました。

6月22日から3年課外講習を開始。7月7日に3年就職者対象の卒業生を囲む会を開催。2年生は7月14日に

仙南合同説明会 約400名の中学生、保護者が参加

7月2日、岩沼市民会館で仙南公立高校の合同説明会が開催され、本校の説明（個別を含む）に約400名の中学生、保護者が参加いただきました。多くの中学生の期待に応えられる高校であるよう、日々頑張つて参ります。



みやぎびっきの会 楽器のリペア

さとう宗幸さん代表のこの会は、宮城出身のアーティストの皆さんが「ふるさとへの恩返し」を趣旨に、県内校の楽器修理等の事業を行っています。今回、本校吹奏楽部の楽器のリペアをしていただき、6月28日来校いただきました。ありがとうございました。

【宮城県名取北高等学校】

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103

TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976

HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>

mail chief@natorikita.myswan.ne.jp

(担当) 教頭・町田尚彦



(学校だよりのご感想をお寄せください)